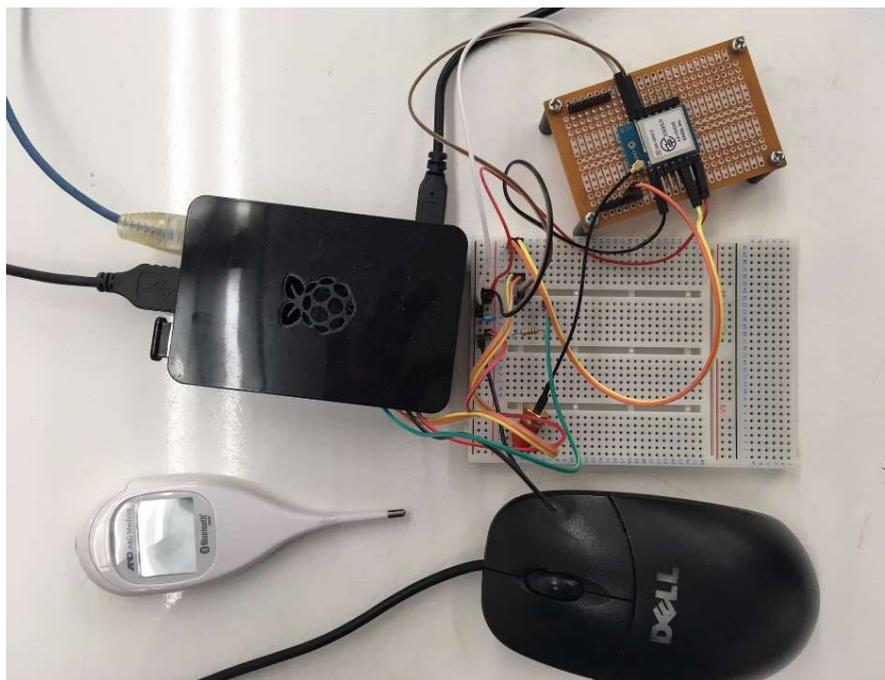


# 富山市センサーネットワーク実証実験成果報告書（本編）

実験タイトル	高齢者宅からの体温・血圧・脈拍等の健康情報自動取得	代表事業者	株式会社ケアワールド
		共同参加者	株式会社オレンジ

1. 実験の目的 高齢者住宅でバイタルを計測することにより、計測したタイミングで情報を自動で取得し、各関係者が把握できるようにする
2. 体制（実施体制の組織図等） 実験、評価担当 株式会社ケアワールド開発担当 株式会社オレンジ
3. スケジュール 8月から開発、10月から実験、1月からレビュー
4. 実験方法 windows azure MCU(RaspberryPi3B+)LoRaモジュール(ES920LRB/EASEL)Bluetooth体温計(UT-201BLE/A&D)、開発言語、php、mysql

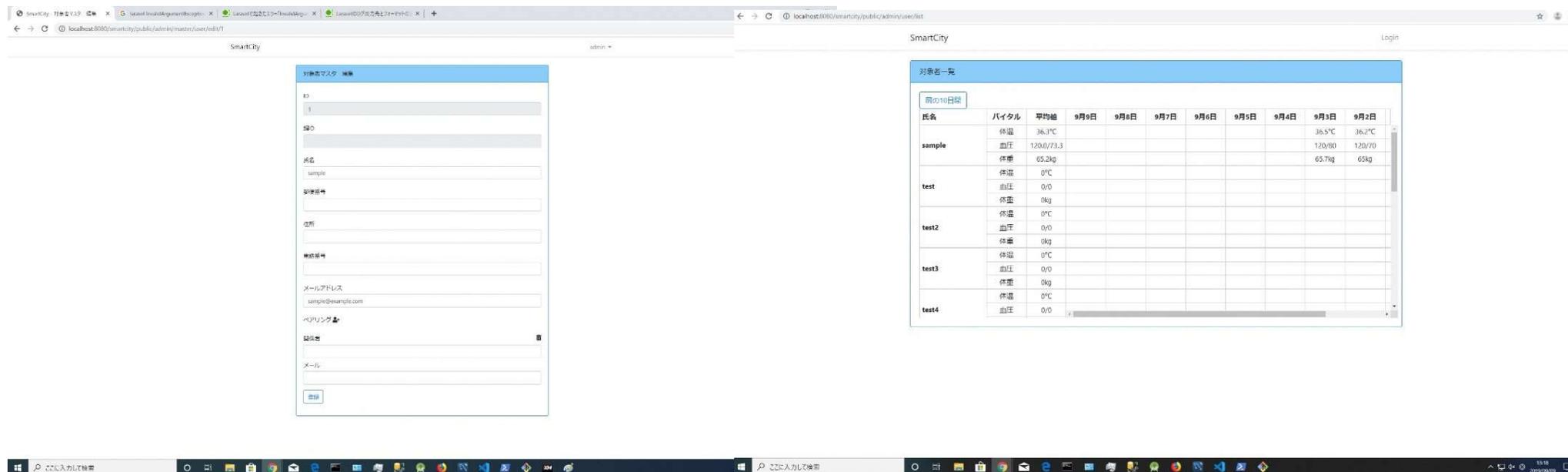
## A 実験デバイス一覧



# 富山市センサーネットワーク実証実験成果報告書（本編）

実験タイトル	高齢者宅からの体温・血圧・脈拍等の健康情報自動取得	代表事業者	株式会社ケアワールド
		共同参加者	株式会社オレンジ

## B ソフトウェア



利用者登録画面

バイタル一覧画面

# 富山市センサーネットワーク実証実験成果報告書（本編）

実験タイトル	高齢者宅からの体温・血圧・脈拍等の健康情報自動取得	代表事業者	株式会社ケアワールド
		共同参加者	株式会社オレンジ

5. 実験結果 実験、mcuの開発をおこない、bluetoothのペアリングに成功

azureサーバのデプロイ、ソフトウェア開発で操作可能となった。

未実験、Mcuからlorawanへの参加、fiwareへの登録、azureサーバへ情報を自動取得しdbに登録

6. 効果 取得した情報を一覧表示、メールで送信する機能があれば、利用者の危機を即座に分かり

対応することが可能と判断される。また、利用者マスタの充実化により、外出先から情報が閲覧可能となり、電話をかけて住所や情報を教えてもらう必要がなくなる見込みであることがわかった。

7. まとめ 実験は、全ての機能を実装することができなかったが

レイアウトやマスタの作り方が非常に参考になった。

# 富山市センサーネットワーク実証実験成果報告書（本編）

実験タイトル	高齢者宅からの体温・血圧・脈拍等の健康情報自動取得	代表事業者	株式会社ケアワールド
		共同参加者	株式会社オレンジ

## フロー(値の受渡)

